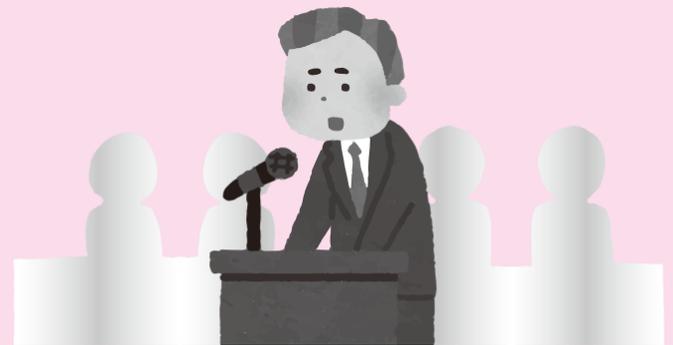


一般質問から

平成27年第2回定例会の一般質問は、6月15日、16日、17日の3日間にわたり、17人の議員が49項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介いたします。

なお、詳しくは、8月下旬に更新予定のホームページをご覧ください。

※議員名の上の番号は、議席番号を示しています。



平和の取り組みについて

Q 戦後70年の年に当たり、改めて市民に平和について考える機会となるよう「広報やしお」で特集等を読む考えはありますか。

A 「平和都市宣言」を行った本市は、市民の8割以上が戦争を知らない世代となった今、風化しつつある戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさについて次世代に引き継ぐことと、市民が平和の大切さや尊厳について意識を高めることは、大変重要であると認識しています。

市では「広報やしお」の7月号から9月号にかけて、平和関



2番 高波 幸雄
連の事業や特集を掲載する予定になっていきます。

道路行政について

Q 市道0110号線(八潮団地通り)の用地は、今日にいたっても八潮市及び民地から成り立っているようですが土地の割合についてお尋ねします。

A この道路は、昭和48年第4回定例会において、市道1号線として道路認定されました。幅員は、8・2メートルから9・0メートル、起点が県道草加八潮三郷線から終点が大字八條の草加市境までの延長2967メートルの路線です。

その後、一部県道になったことと、昭和58年市道0110号線として道路認定され、幅員は



21番 豊田 吉雄
9・0メートルから11・0メートル延長1402メートルに変更されました。

当該路線用地の民地ですが、現在の道路台帳と登記簿を基に調査したところ、三筆の民地が確認されました。面積割合は、市有地が約97パーセント、民地が約3パーセントとなっています。

中川やしお水辺の楽校について

Q 中川やしお水辺の楽校を永続的に維持管理していくため、本市ではどのような計画を考えているかお尋ねします。

A 中川やしお水辺の楽校の維持管理については、天災等による大規模な維持修繕が必要な場合を除いて、日常的な安全管理や点検等については本市が行うこととなっています。さらに、中川やしお子どもの水辺運営協議会と締結した確認書により、管理及び点検にあたっては両者が協力して行い、特に清掃や草刈り、施設の日常的な維持管理は、本市の責任のもとで

12番 岡部 一正
運営協議会が行うこととしています。

今後とも維持管理を永続的に行うためには、運営協議会に対する補助金交付と運営協議会による年会費の徴収、協賛金の募集や維持管理費等に充てるための収益につながるような事業の実施も検討していく必要があります。

また、施設の破損や経年劣化の状況を把握するとともに、安全を強く意識しながら、維持管理費等を毎年度予算化する必要があると考えています。

やしお駅前公園について

Q 公園のベンチの場所に、雨よけや、日照り防止の屋根が、いくつかあれば助かりますので、何方所か屋根の設置をすることについてお伺い致します。

A 植栽している樹木による日陰で対応するには、成育するまでに相当の期間を要しますことから利用者の利便性を考慮し、休息の場の確保や日陰を作るための設置について検討して参りたいと考えております。



17番 小倉 順子

市南部地域の消防署分署設置について

Q 4月22日、古新田区域で火災が発生し住宅1軒が焼失しました。通報から現場放水まで10分以上かかっています。平成24年3月で大瀬出張所が廃止されて、住民の火災や救急体制への不安の声が上がっていました。

今回の火災は、駅南部の消防分署の設置の必要性を地域住民が改めて痛感しました。

関係7町会5171人からの大瀬出張所廃止の撤回の署名を受け、平成23年12月八潮市議会建設水道常任委員会は、附帯決議「消防委員会の今後の分署及び出張所についての附帯意見に

9番 池谷 和代
ついて、時期をみて検討すること」を賛成全員で可決しています。分署の早急な設置が求められています。検討状況を伺います。

A 消防分署の設置につきまは、広域消防運営計画における署所配置や八潮市消防委員会の答申書を尊重し、本市の計画との整合性を図りながら、実行性のある計画を策定するため検討してまいります。